

洛和会音羽病院総合内科

洛和会は、1950（昭和 25）年に矢野医院を開設して以来、現在「医療」「介護」「健康・保育」「教育・研究」の分野で約 170 カ所の総施設数をもっております。病院は丸太町病院、音羽病院、音羽記念病院、音羽リハビリテーション病院、東寺南病院と 5 つあり、音羽病院は最も大きく、中心的な病院のひとつで、京都市の東、滋賀県との県境に位置します。許可入院患者数 548 人（一般病棟:429 人（うち ICU / CCU:12 人、SCU : 12 人、救命救急病棟 : 32 人含む）、地域包括ケア病棟 : 59 人、認知症治療病棟 : 60 人）で、救命救急センターを擁し、各専門科が高度な医療を提供して高度急性期病院として発展しております。研修医教育も盛んで、医学教育センターを中心に各科の協力の下、屋根瓦方式を実践しています。総合内科は、日本の総合診療の草分け的存在である松村理総長の下、これまでたくさんの総合診療医を輩出してきました。彼らは各地で活躍しています。いわゆる絨毯爆撃的に検査をするのではなく、詳細な病歴聴取や診察によりプロブレムを抽出し、診断推論を尊重した病院診療を行っています。さらに今後日本が直面する地域医療問題に備え、家庭医療的なマインドで地域医療・在宅医療を展開していこうとしています。